

1. 旧中央図書館の概要

旧板橋中央図書館は、昭和45年(1970年)に竣工しました。設計は、駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場を設計し、板橋区立美術館(開館時)も手掛けた村田政真(むらたまさちか、1906年-1987年)です。

令和2年12月に図書館機能は板橋区平和公園(常盤台4-3-1)へ移転しました。閉館後は、令和3年5月から令和5年8月までは、新型コロナワクチン接種会場として活用されました。

令和2年8月より、今後の跡地の活用方法について検討を進めています。

所在地	常盤台1-13-1
敷地面積	1,409.80 ㎡
建物現況	延床面積:2,907.23 ㎡ 構造:RC造、地上3階地下1階 建築年:昭和45(1970)年築

2. 旧中央図書館跡地活用のこれまでの検討

中央図書館の移転後、旧中央図書館跡地の活用について、さまざまな検討が行われてきました。その主な検討の経過をご紹介します。

- 令和2年8月「いたばしNo.1実現プラン2021」の策定

「いたばしNo.1実現プラン2021」に基づき、公共施設配置検討の対象となっていた常盤台地区において、区民事務所の移転や公園機能の拡充といった課題を踏まえ、中央図書館跡地への常盤台区民事務所移転案が示されました。
- 令和2年12月中央図書館の閉館

中央図書館が閉館し、図書館機能は平和公園(常盤台4-3-1)へ移転しました。
- 令和3年1月「いたばしNo.1実現プラン2025」の策定

社会環境の急激な変化を踏まえて、公共施設の新規工事着工を原則先送りとしたことから、旧中央図書館跡地の活用方針は、令和6年度以降に改めて検討することとしました。
- 令和6年1月「いたばしNO.1実現プラン2025(改訂版)」の策定

これまでの考え方を見直し、旧中央図書館跡地の活用方針について、令和6年度に検討することとしました。
- 令和7年2月「旧中央図書館跡地活用方針」の公表

①自転車駐車場の安定的確保、②公園と一体的な地域利用空間の形成、③既存建物の有効活用の検討を基本方針としました。
- 令和7年12月住民説明会の開催

住民説明会を開催し、旧中央図書館跡地整備構想・整備計画の検討状況について、説明しました。
- 令和8年1-2月「旧中央図書館跡地の施設整備に関するアンケート調査」の実施

常盤台公園を中心とした半径250mの範囲に含まれる街区全域を対象に、旧中央図書館跡地の施設整備に関するアンケート調査を実施しました。集計後、アンケート結果の公表は令和8年5月に行われました。
- 令和8年2月「旧中央図書館跡地整備構想・整備計画 中間のまとめ」の公表

これまでの検討結果を踏まえ、各種調査(測量調査、地質調査、既存躯体活用判断に係る調査、樹木調査)を実施し、中間のまとめを公表しました。

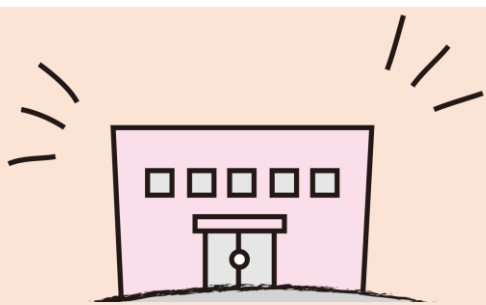
①自転車駐車場の安定的確保、②公園と一体的な地域利用空間の形成、③既存建物の有効活用の検討を整備方針としました。
- 令和8年3月「住民説明会の開催」

住民説明会を開催し、中間のまとめについて説明しました。

3. 現在の検討状況

令和8年6月現在、これまでの検討や、「旧中央図書館跡地の施設整備に関するアンケート調査」の結果をもとに、令和8年度中の「整備構想・整備計画」の策定を目指して更なる検討を進めています。

旧中央図書館跡地活用の
これまでの検討



旧中央図書館跡地の施設整備
に関するアンケート調査



令和8年度中の「整備構想・整備計画」の策定

4. 旧中央図書館跡地の条件整理

旧中央図書館跡地は、**第一種低層住居専用地域**に指定されています。

区域区分	市街化区域
都市計画区域	都市計画区域
用途地域	第一種低層住居専用地域
建ぺい率	50%
容積率	100%
敷地面積の最低限度	100㎡
高さの限度	10m

第一種低層住居専用地域とは？

第一種低層住居専用地域では、良好な住環境を守るため、建築できる建物の種類が建築基準法により定められています。

- ・住宅
 - ・兼用住宅
 - ・共同住宅等
- ・学校・図書館等
 - ・神社、寺院、教会等
 - ・老人ホーム、保育所等
- ・公衆浴場
 - ・診療所
 - ・公益施設
 - ・これらの附属建築物

6. 旧中央図書館跡地活用方針 令和7年2月公表

令和7年2月に、「旧中央図書館跡地活用方針」を公表しました。本方針をもとに、令和7-8年度に、整備構想・整備計画の検討と策定を進めています。

①自転車駐車場の安定的確保

地域課題を解決するため、跡地活用の中で、ときわ台駅周辺の安定的な自転車駐車場運営を実現していきます。

②公園と一体的な地域利用空間の形成

隣接する常盤台公園と一体的に活用することで、近隣住民に親しまれ、地域の魅力やブランドの創出・向上に資する整備をします。

③既存建物の有効活用の検討

跡地の既存建物の有効活用を視野に入れて検討し、環境負荷の低減と費用対効果の向上の実現をめざします。

5. 周辺の自転車駐車場に関する状況

現在、ときわ台駅北口には区営自転車駐車場が4箇所あり、そのうち2箇所は民有地を借用して運営されています。

このうち、北口第1自転車駐車場は土地所有者の意向により民間会社へ売却され、今後閉鎖予定であり、また第3自転車駐車場は令和7年12月末に閉鎖されました。このため、**現状では自転車を受け入れるための十分なスペースの確保が難しい状況**となっています。



※令和8年1月に第3自転車駐車場の代替地として旧中央図書館に仮設自転車駐車場を開設。

7. 旧中央図書館跡地の整備方針 令和8年2月公表

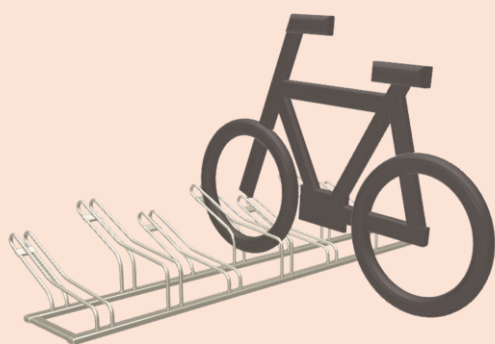
整備方針

みどり豊かで静かな環境と調和する「地域の魅力やブランドを創出する拠点づくり」

常盤台の特徴的な緑地や良質な街並みと公園の魅力を活かし、地域課題への対応、日常交流の場の創出、環境負荷軽減を図るため、3つの方向性から整備を検討します。

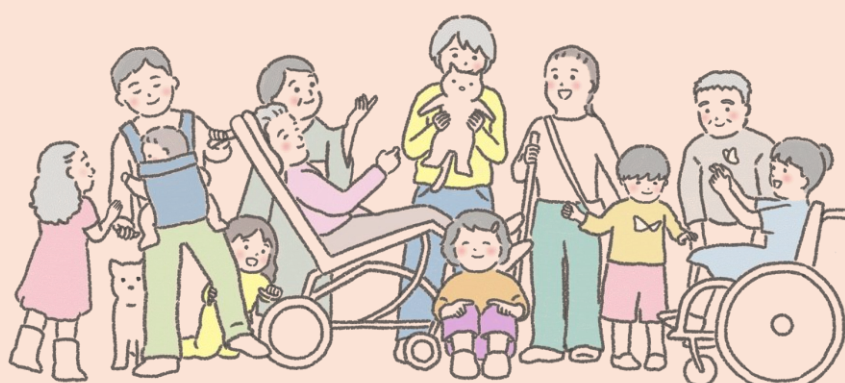
①安定的な自転車駐車場運営に資する整備

- ・子乗せ自転車や高齢者も停めやすい自転車駐車場の設置を検討します。
- ・公園との動線が干渉しない配置を検討します。
- ・公園の魅力や地域の静穏性を損なわないよう配慮します。



②地域ブランドの創出・向上に資する整備

- ・静かな環境と調和し、地元住民等が主体的に活動できる「日常交流の場」の設置します。
- ・まちと公園が連続する空間を形成します。
- ・公園の魅力を補完する環境整備を行います。



③環境負荷の低減と費用対効果の向上に資する整備

- ・環境負荷の低減と費用対効果の向上につなげるため、旧中央図書館の既存建物の活用を検討します。
- ・関連法令を踏まえて、既存躯体の活用範囲を整理(部分的な減築を検討する)します。
- ・公園との一体感と連続性の確保します。



8. 昨年度実施した調査・検討の概要

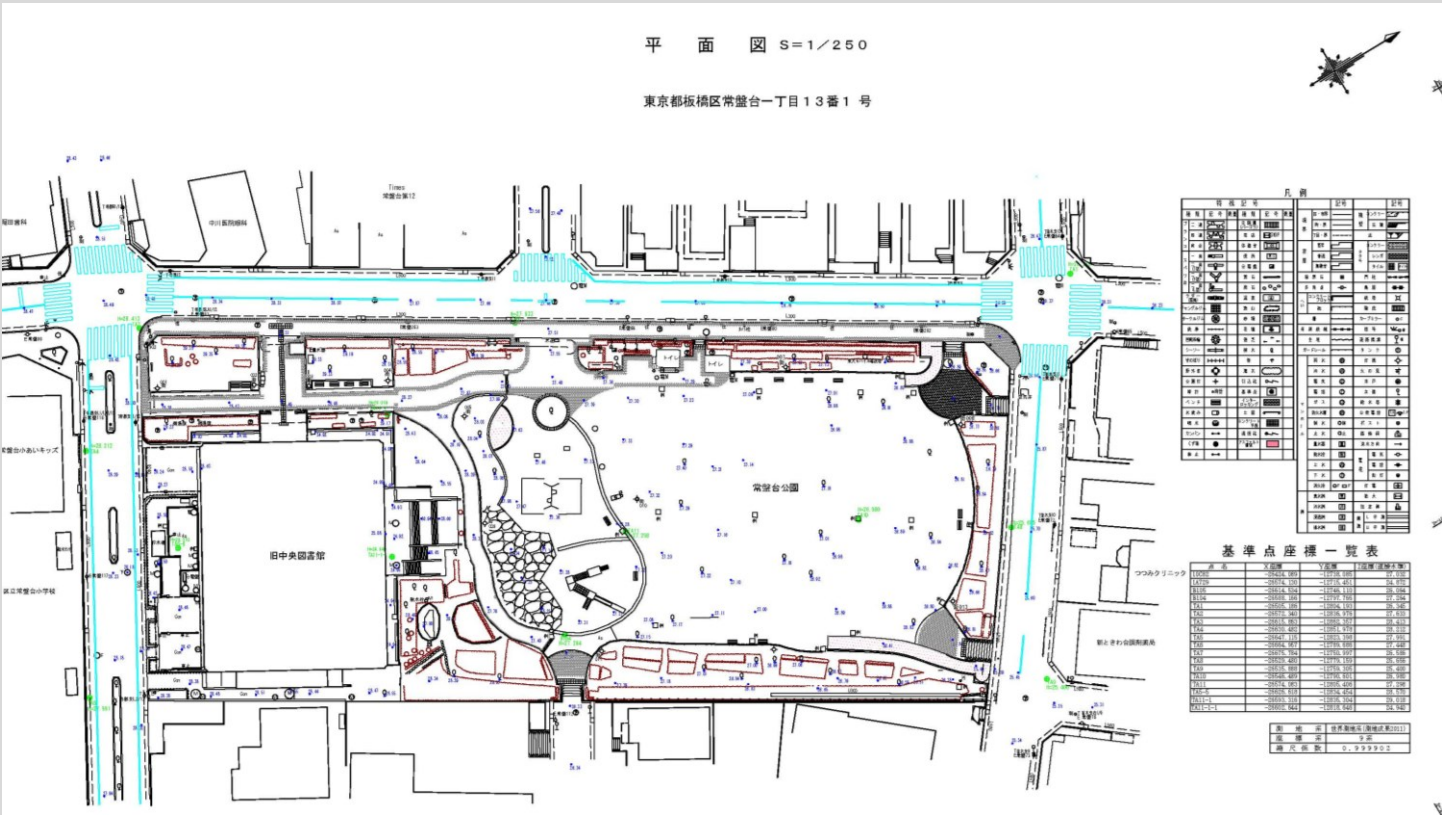
整備構想・整備計画の検討にあたり、各種調査・検討を実施しました。その主な内容について、以下に紹介します。

① 測量調査

【概要】

敷地の現況を正確に把握するため、測量調査を実施しました。
対象は旧中央図書館跡地と隣接する常盤台公園の全域です。

作成した平面図 ▶



② 地質調査

【概要】

地盤の強度や構造などを把握するための地質調査を実施しました。新設する構造物の基礎の安全性と耐久性を確保することを目的としました。公園内3箇所で調査を実施しました。

作業の様子 ▶

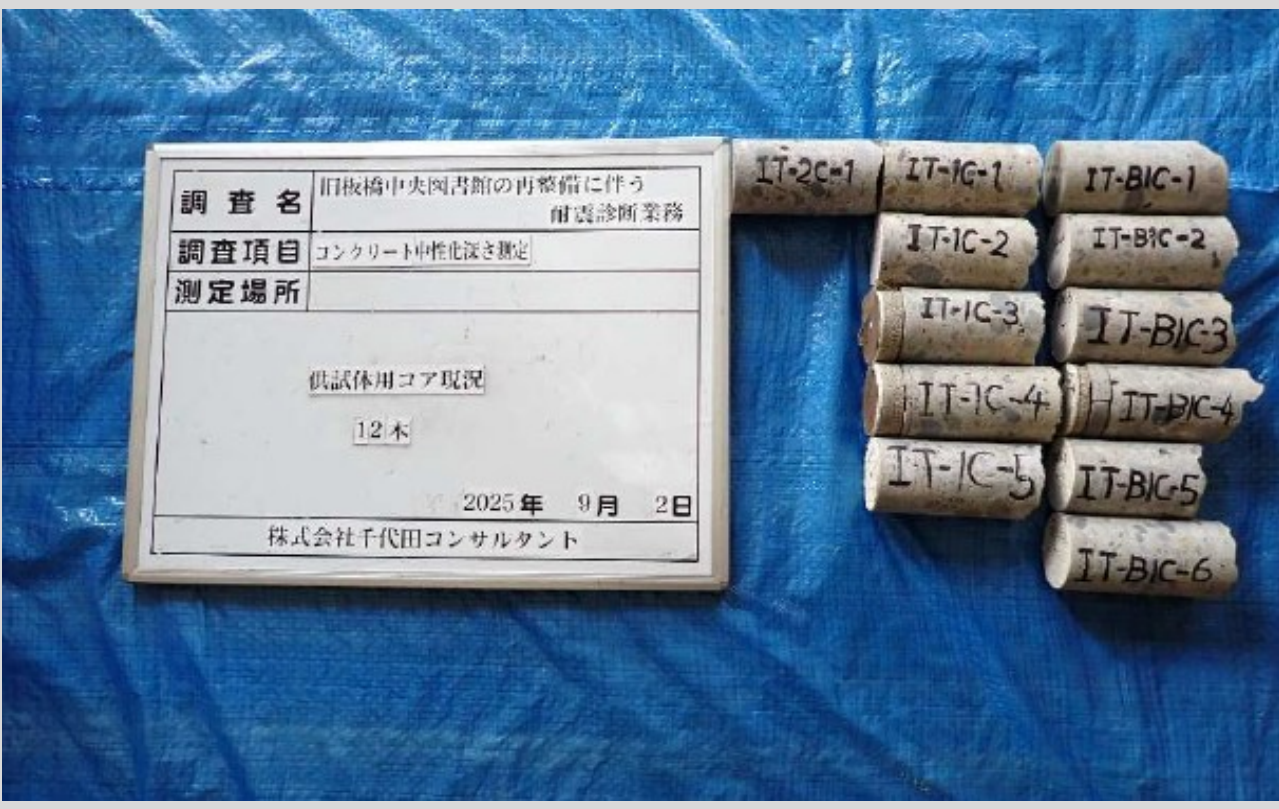


③ 既存躯体活用判断に係る調査

【概要】

建物の老朽化の進み度合いを確認(構造体の健全性評価)し、今後の整備方針に反映することを目的に、建物の劣化状況の調査を実施しました。

作業の様子 ▶



④ 樹木調査

【概要】

常盤台公園及び隣接する旧中央図書館に植栽されている樹木において外観診断を実施し、各樹木の状態と健全度について調査しました。

調査結果 ▶

		ランク	状態	数量
A	健全	特に問題はなく、対応の必要はない状態。		16本
B	健全に近い	簡易な処置を施し、必要に応じて経過を観察する状態。		20本
C	要注意	本格的な処置を行い経過を観察するが、周囲の状況に支障がある場合は伐採する可能性がある状態。		11本
D	危険木	原則として伐採するが、樹体の状態により専門家が再生可能と判断した場合は本格的な処置を行い経過を観察する状態		1本

⑤ スロープ動線計画の検討

【概要】

建物内の自転車駐車場スペースと地上部を接続するスロープ動線について検討を行っています。
下記に示すイメージパースは検討中のものであり、最終的に確定したものではありません。

イメージパースを用いた配置案の検討(検討途中) ▶



9. 整備案の比較検討

既存建物について、各種調査・検討の結果を踏まえ、3案の比較検討を行いました。

①歴史・景観を継承し空間を広く残す場合のイメージ

3階全撤去＋2階の一部(600㎡)撤去

【概要】
2階の一部を吹き抜けとして残すことで開放感を高めています。建物の補修費用は最も大きくなりますが、②案との差は大きくありません。

【比較表】

歴史・景観の継承	最も高い
補修の必要性	必要
Co2排出量	最も少ない
工期	中程度
環境負荷	最も小さい
コスト	中



②歴史・景観を含む全体的なバランスを重視する場合のイメージ

3階・2階全撤去

【概要】
解体量、補修量ともに中間的な規模となります。建物のイメージを残しながら、歴史・景観の継承が可能です。地上部の使い方の自由度も確保できます。

【比較表】

歴史・景観の継承	中
補修の必要性	必要
Co2排出量	最も少ない
工期	最短
環境負荷	小～中
コスト	中



③地上空間を刷新する場合のイメージ

1～3階全撤去

【概要】
歴史・景観の継承は行いませんが、地上部を新たに計画できます。3案の中で、環境負荷は比較的大きくなります。

【比較表】

歴史・景観の継承	低
補修の必要性	必要
Co2排出量	やや少ない
工期	中程度
環境負荷	小～中
コスト	低



10. 活用イメージ

整理した整備活用方針を踏まえ、利用シーンや活動内容が具体的にイメージできるよう、空間の活用や利用の様子を示したイメージパースを作成しました。作成にあたっては、「①歴史・景観を継承し、空間を広く残す場合」を基本として作成しています。

なお、本パースはあくまでイメージであり、このとおり整備を行うことが決まっているものではありません。

①地上空間の活用イメージ



▲様々な活動に利用できる吹抜広場



▲朝のラジオ体操



▲遊具を配置して公園化



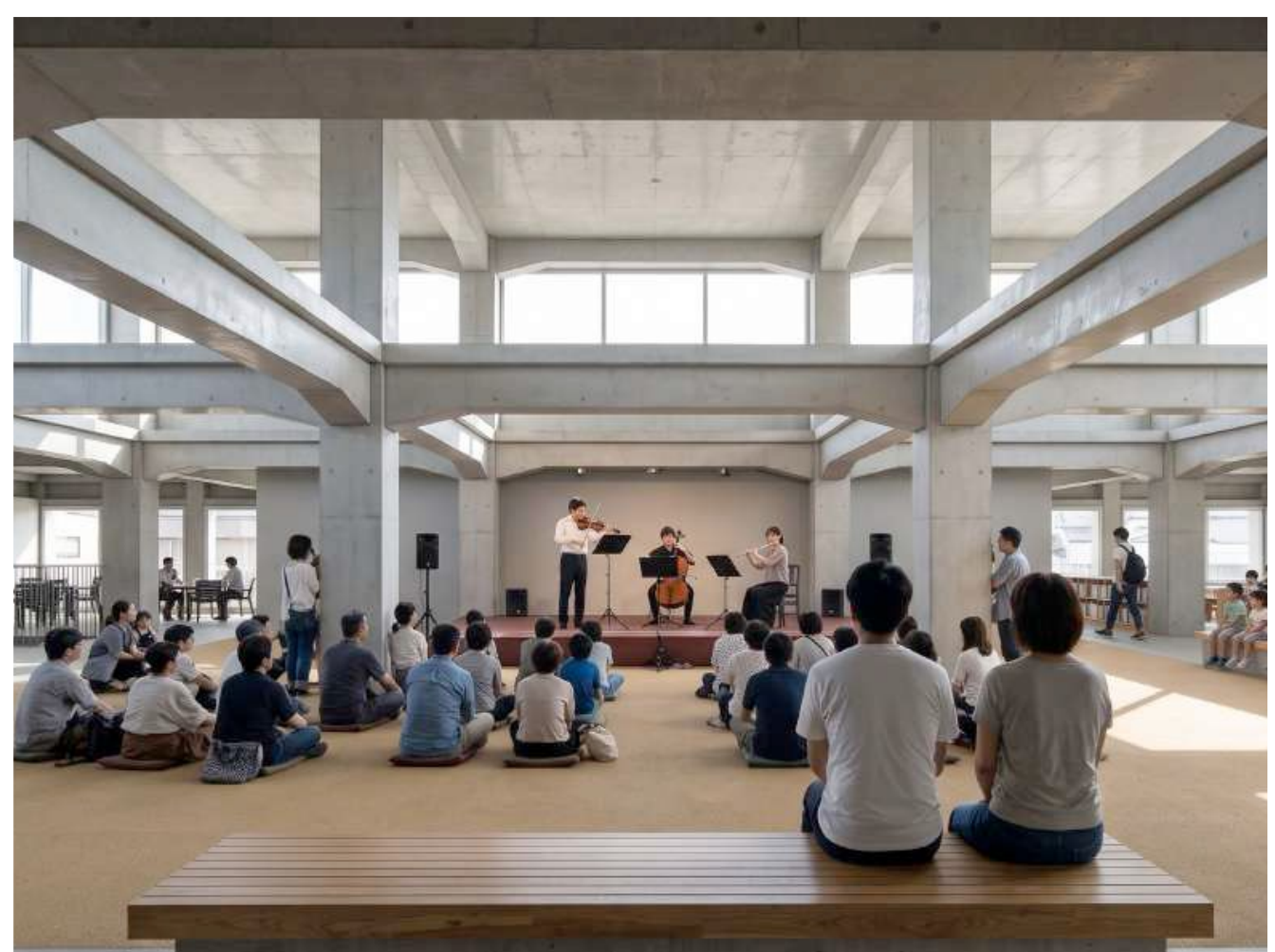
▲マルシェ



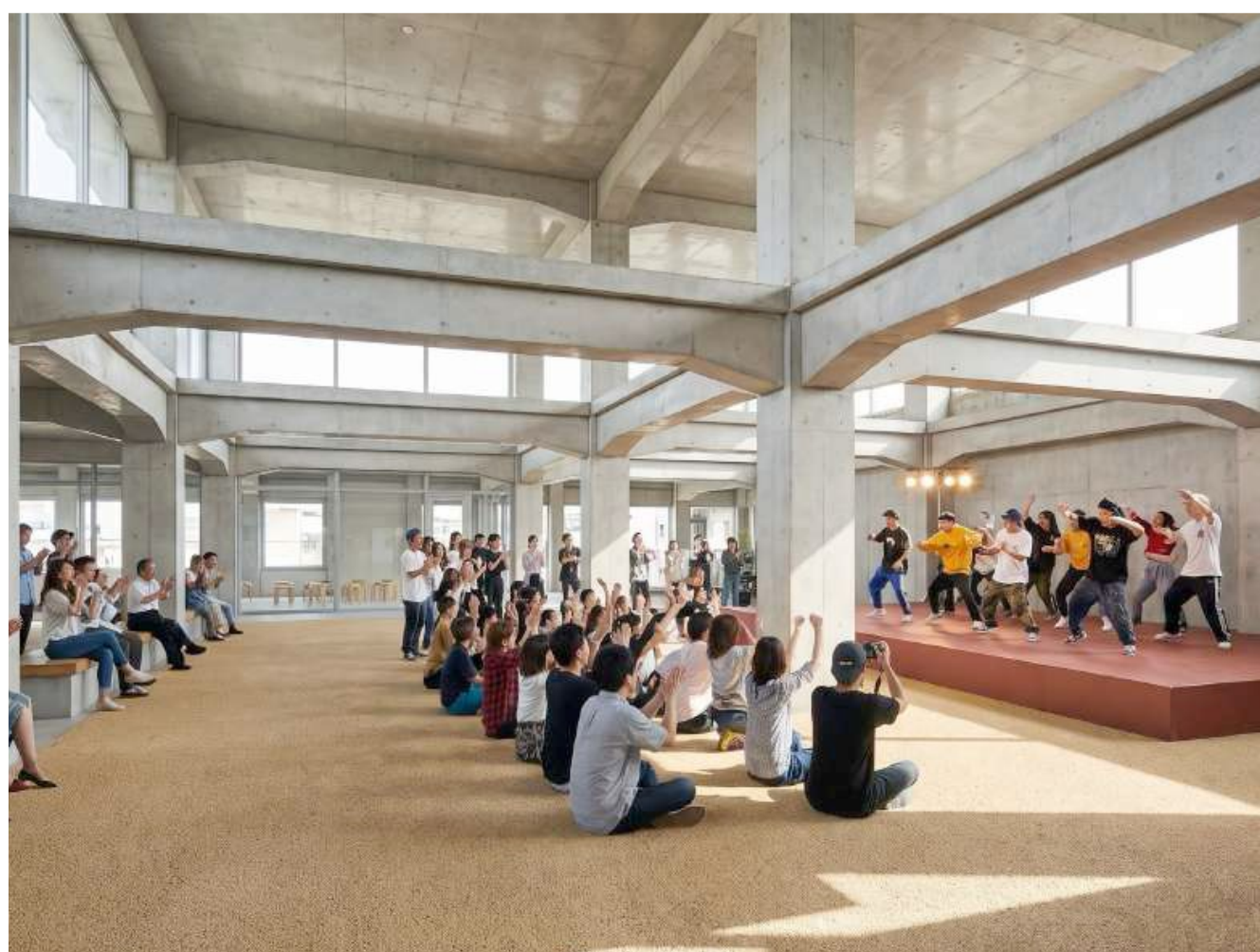
▲ワークショップ



▲区民活動展示会



▲ミニコンサートが可能な吹抜広場

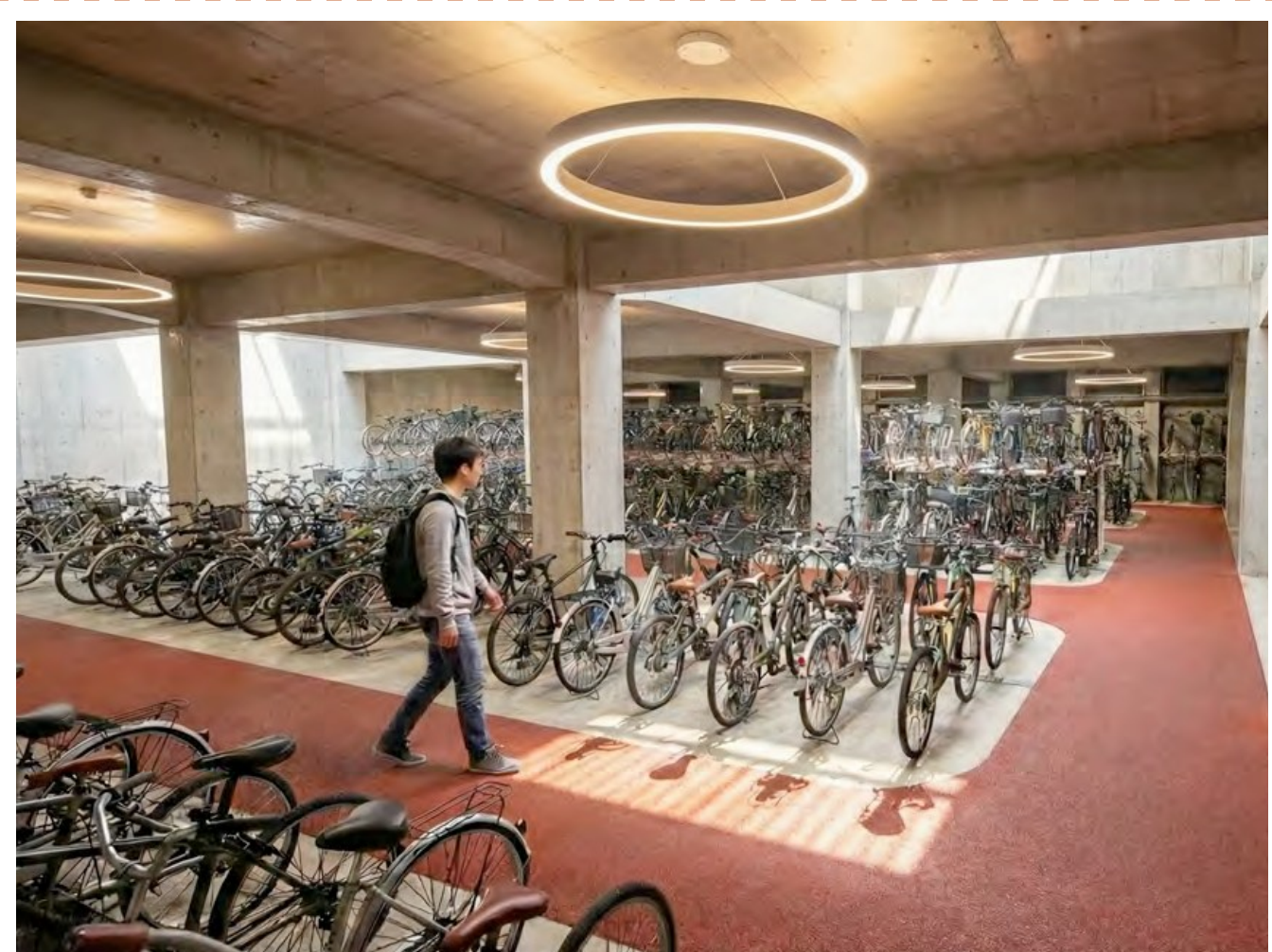


▲多様なイベントが可能なステージを持つ吹き抜け空間



▲公園に面した回廊空間

②自転車駐車場の活用イメージ



▲居心地の良さにも配慮した自転車駐車場



▲自転車駐車場は吹抜けで上階とつながり、明るく安全に利用できる



▲各階の吹き抜けが立体的に繋がる明るい空間

11. 整備事例

本整備の検討にあたり、行政による減築減築物の事例や地下自転車駐車場の事例など、今後の整備の方向性を考えるうえで参考となる先進事例を整理しました。

①行政による減築建築物事例

減築とは？

既存の建物の一部を取り除くことで建物規模を縮小し、構造や機能を見直しながら、費用や環境負荷を抑えて再整備する手法です。



青森県庁舎(南棟・東棟・議会棟)〔青森県青森市〕

老朽化への対応として、建替えではなく減築を採用し、既存建物の価値を保ちながら機能更新を行いました。減築により建物規模を縮小することで整備費用を抑制するとともに、長寿命化を図っています。公共建築物の更新手法の一つとして参考となる事例です。



むさしのエコreゾート〔東京都武蔵野市〕

老朽化したごみ処理施設を対象に、減築および改修により環境啓発施設へ転換した事例です。既存空間の構造を活かしながら不要部分を撤去することで開放性を高め、地域に開かれた施設として再構成しています。また、既存構造を活かしたデザインにより、資源循環の考え方を体現した空間づくりを行っています。



②自転車駐車場の整備事例

押上駅前自転車駐車場〔東京都墨田区〕

約2,600台を収容する駐輪場でありながら、屋上を「丘」として開放した公共空間を備えています。緑化やデッキを整備し、スカイツリーを望む展望空間としても利用されています。駐輪機能に加えて、公園のような滞在空間を提供する事例です。



1. アンケート調査の概要

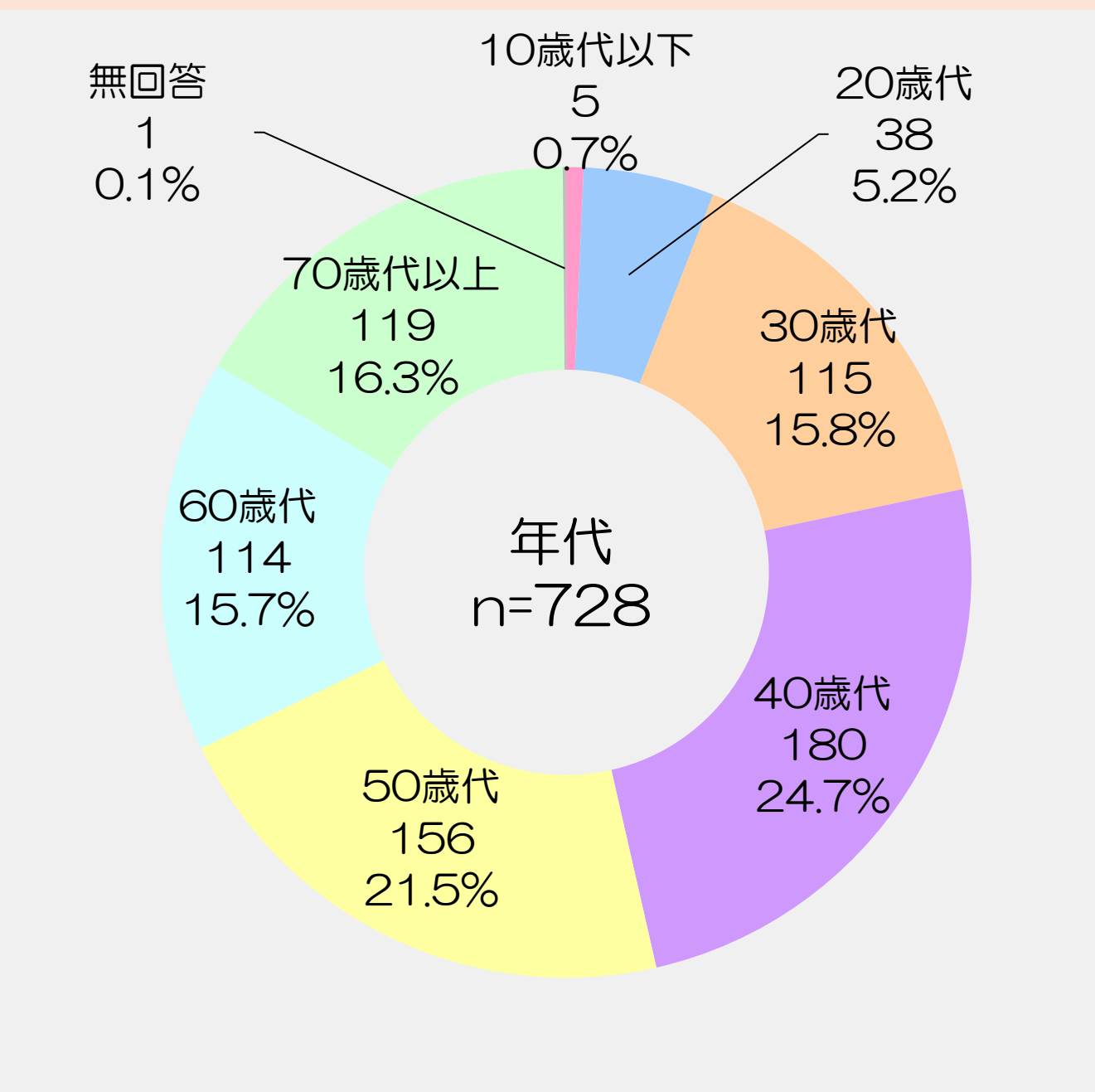
令和8年1月～2月の間で、「板橋区旧中央図書館跡地施設整備に関するアンケート調査」を実施しました。本パネルでは、一部抜粋して結果を整理しました。

アンケート結果の詳細は右記の二次元コードからもご確認いただけます。

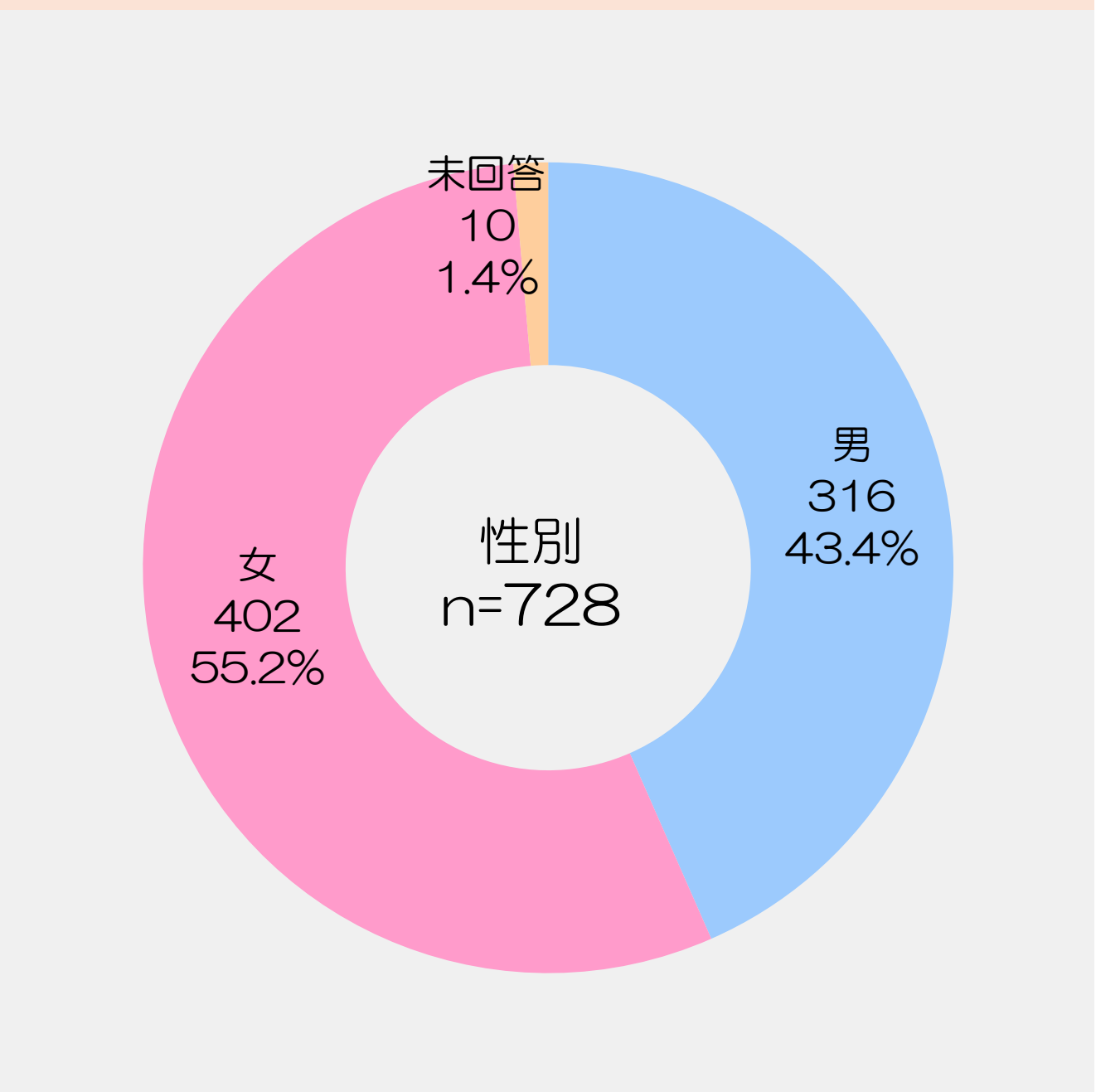
調査対象		主に、常盤台公園を中心とした半径250mの範囲に含まれる街区全域
実施期間		令和8年1月17日(土)～2月15日(日)（30日間実施）
調査方法		方法:調査対象地域へのポスティング(2次元コード付き)で依頼 回答:紙媒体及びWeb回答
結果	配布数	ポスティング数:常盤台1丁目(1,308世帯)、常盤台2丁目(355世帯) 合計1,663世帯
	回収数	回収数:728件(WEB:669件 紙:59件) 回収率:44%

2. 選択式回答の調査結果

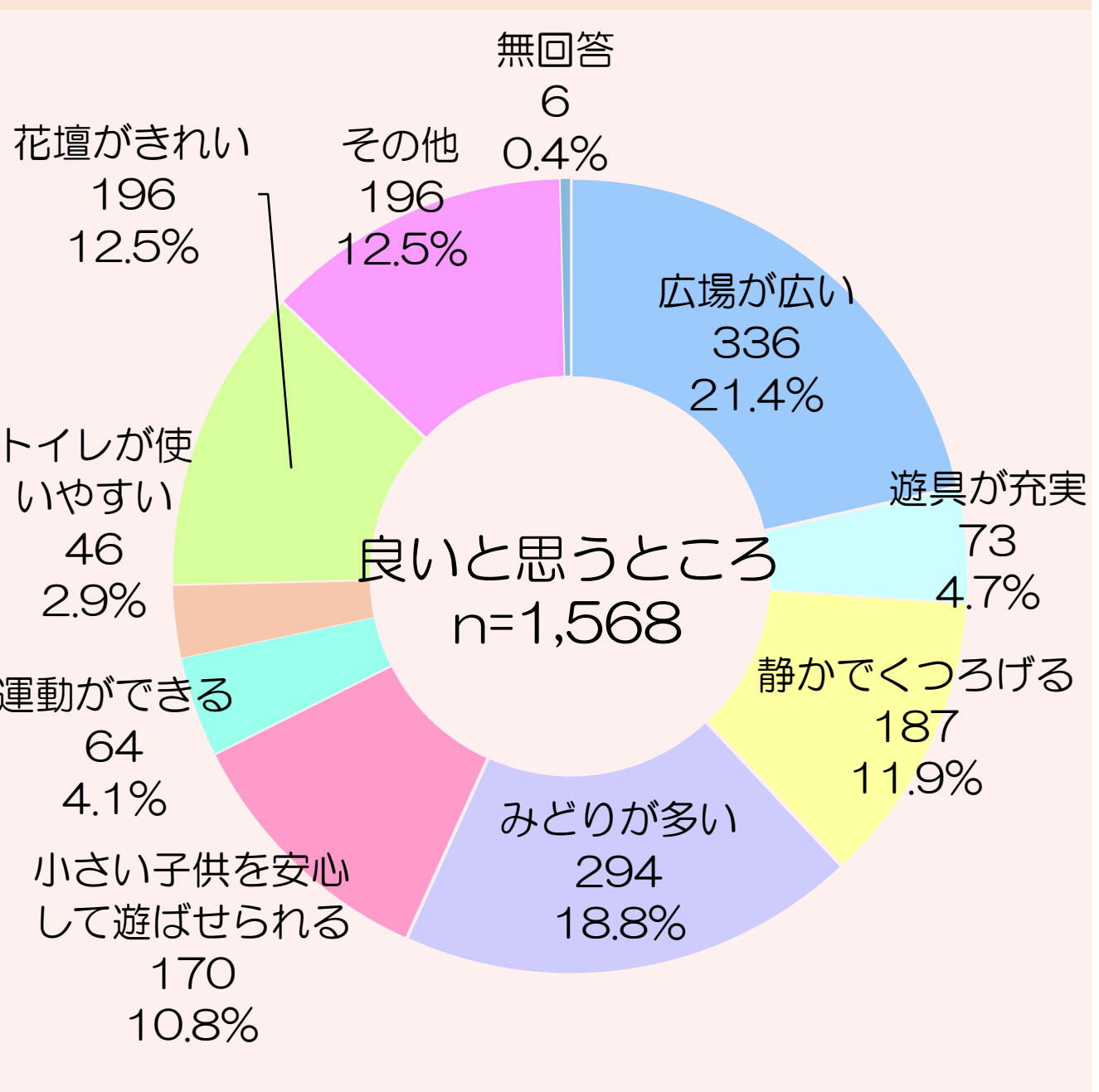
1)属性について(性別)



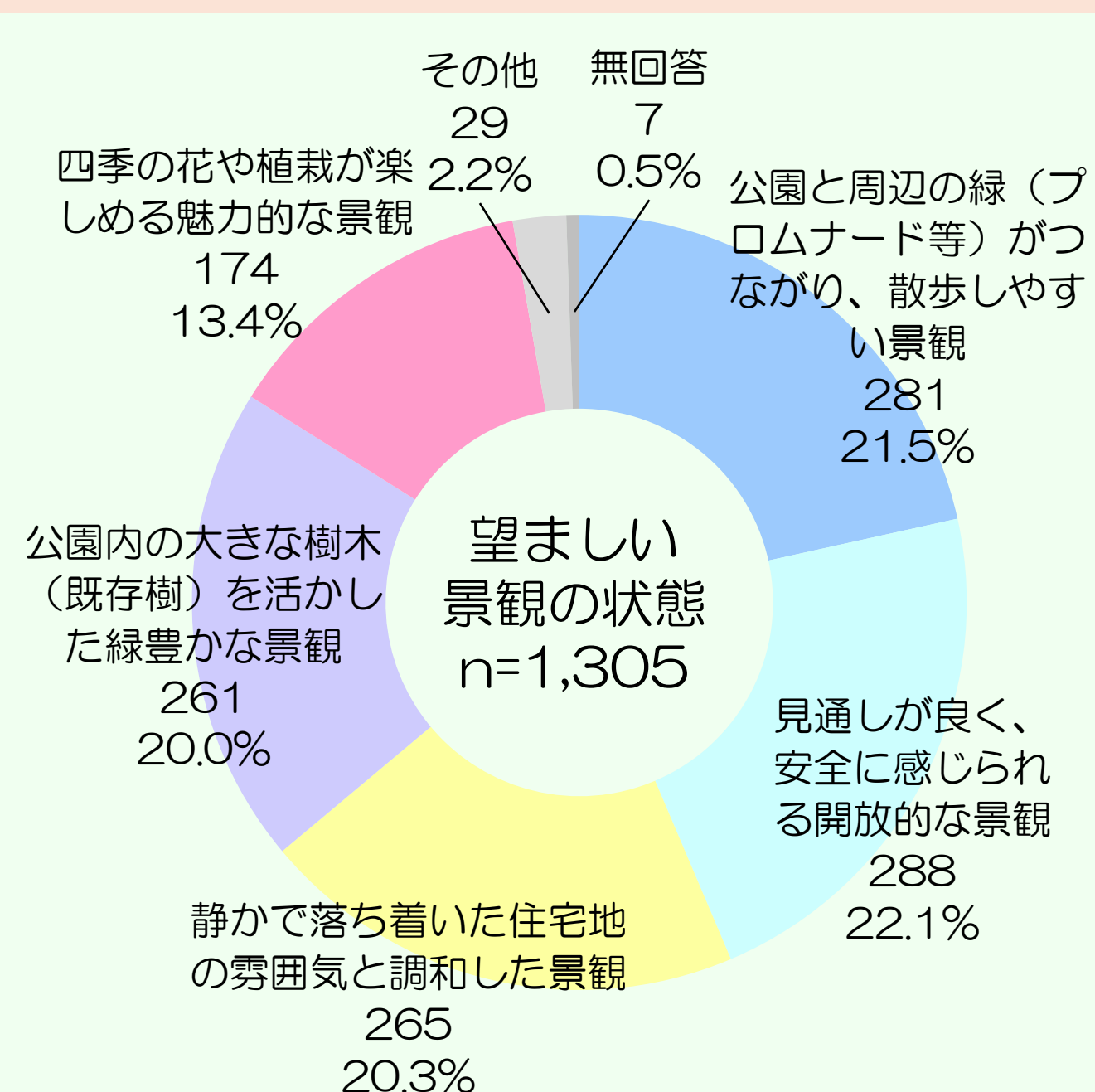
2)属性について(年代)



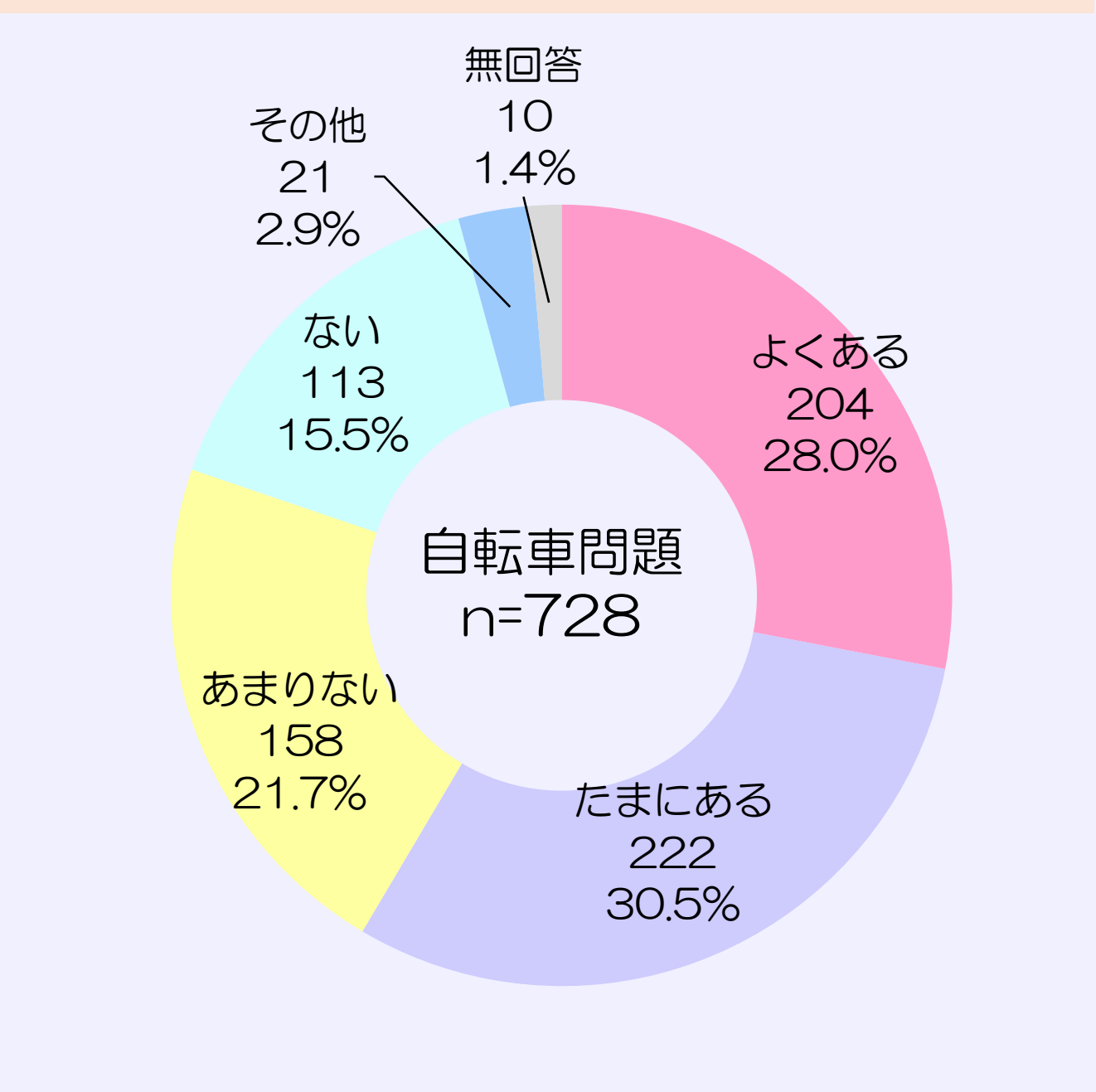
3)常盤台公園の利用状況について



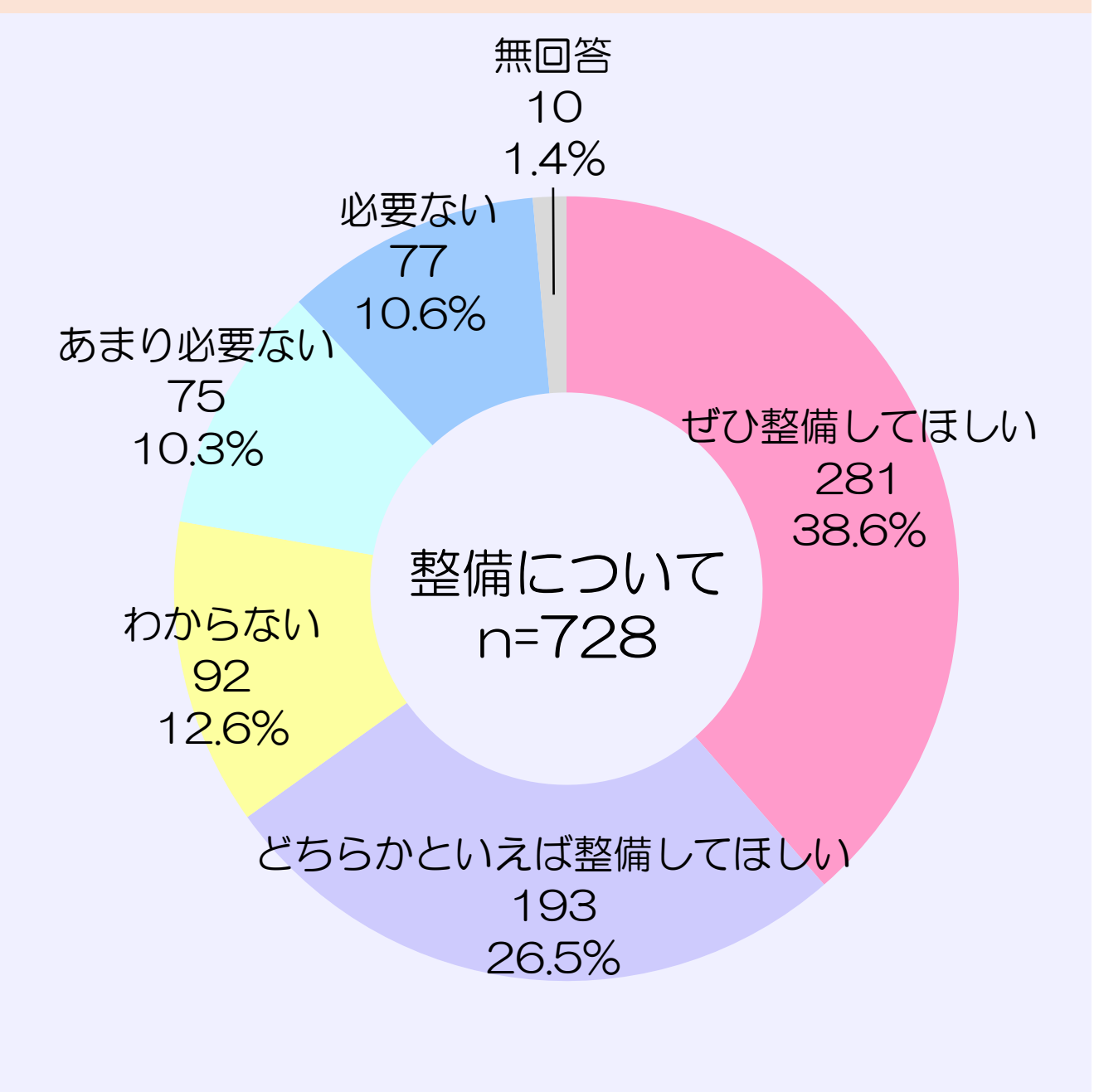
4)常盤台周辺のまちづくりと公園のかかわり方について



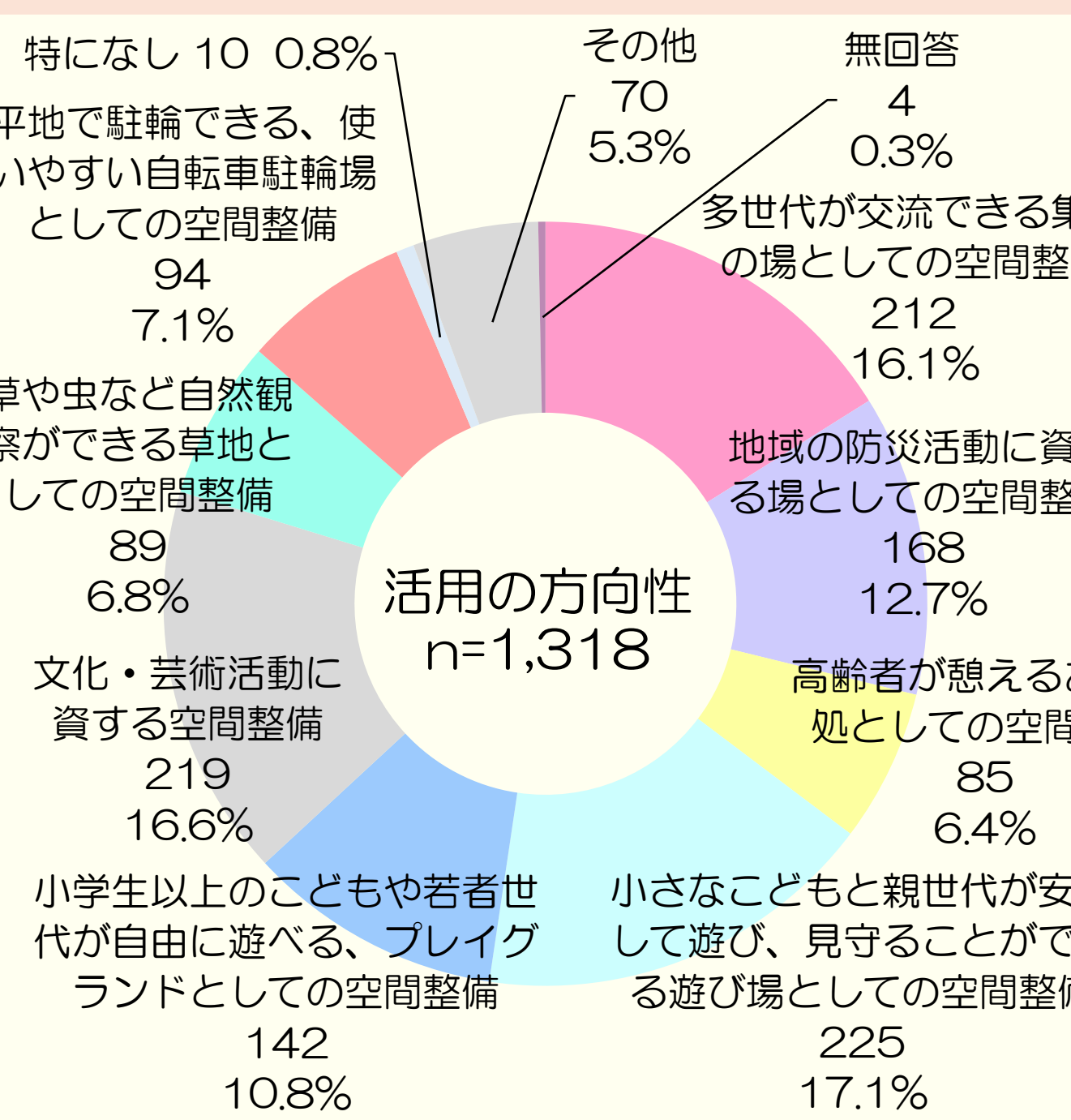
5)「駐輪スペース不足」「放置自転車」について



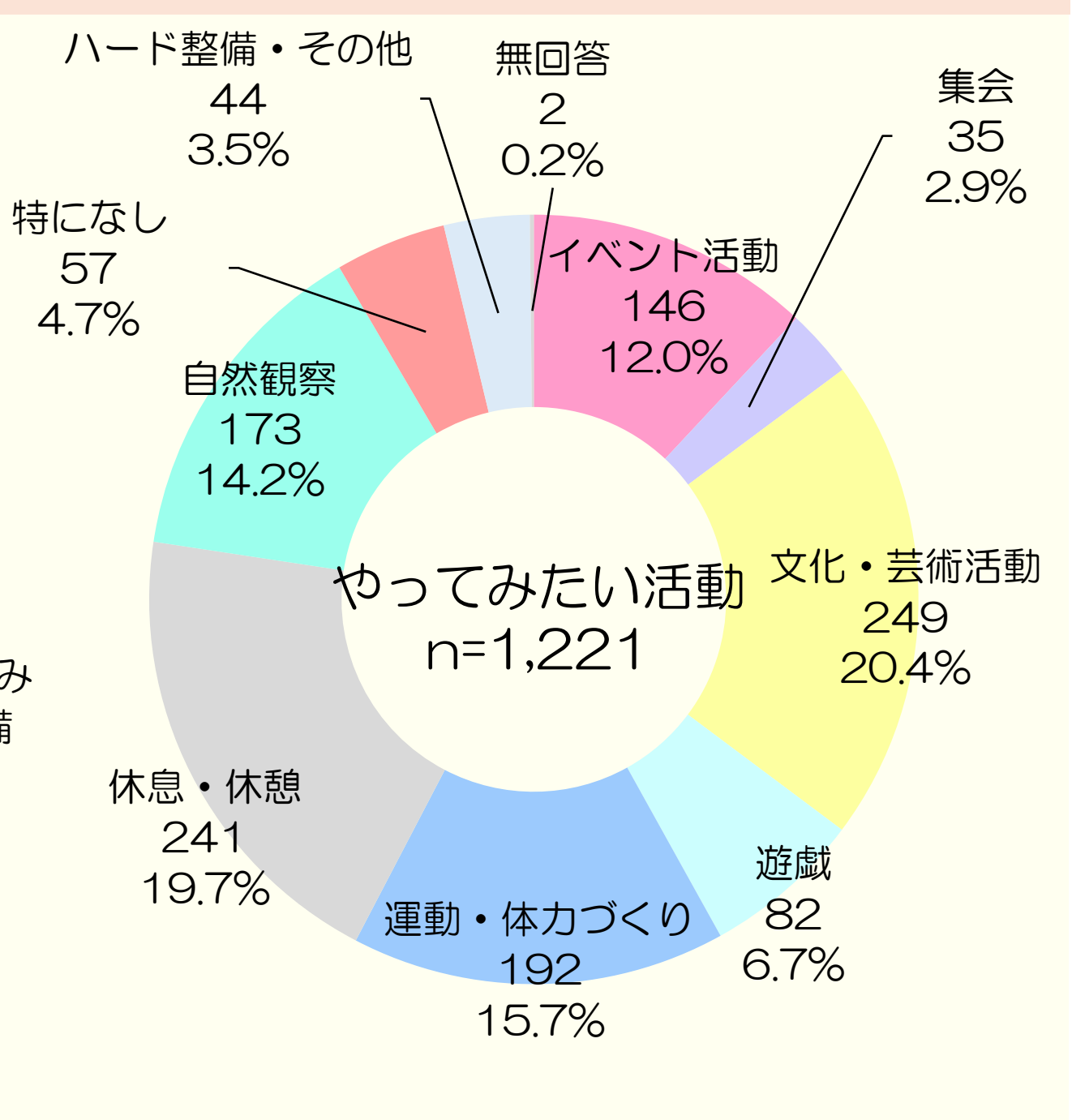
6)自転車駐輪場整備について



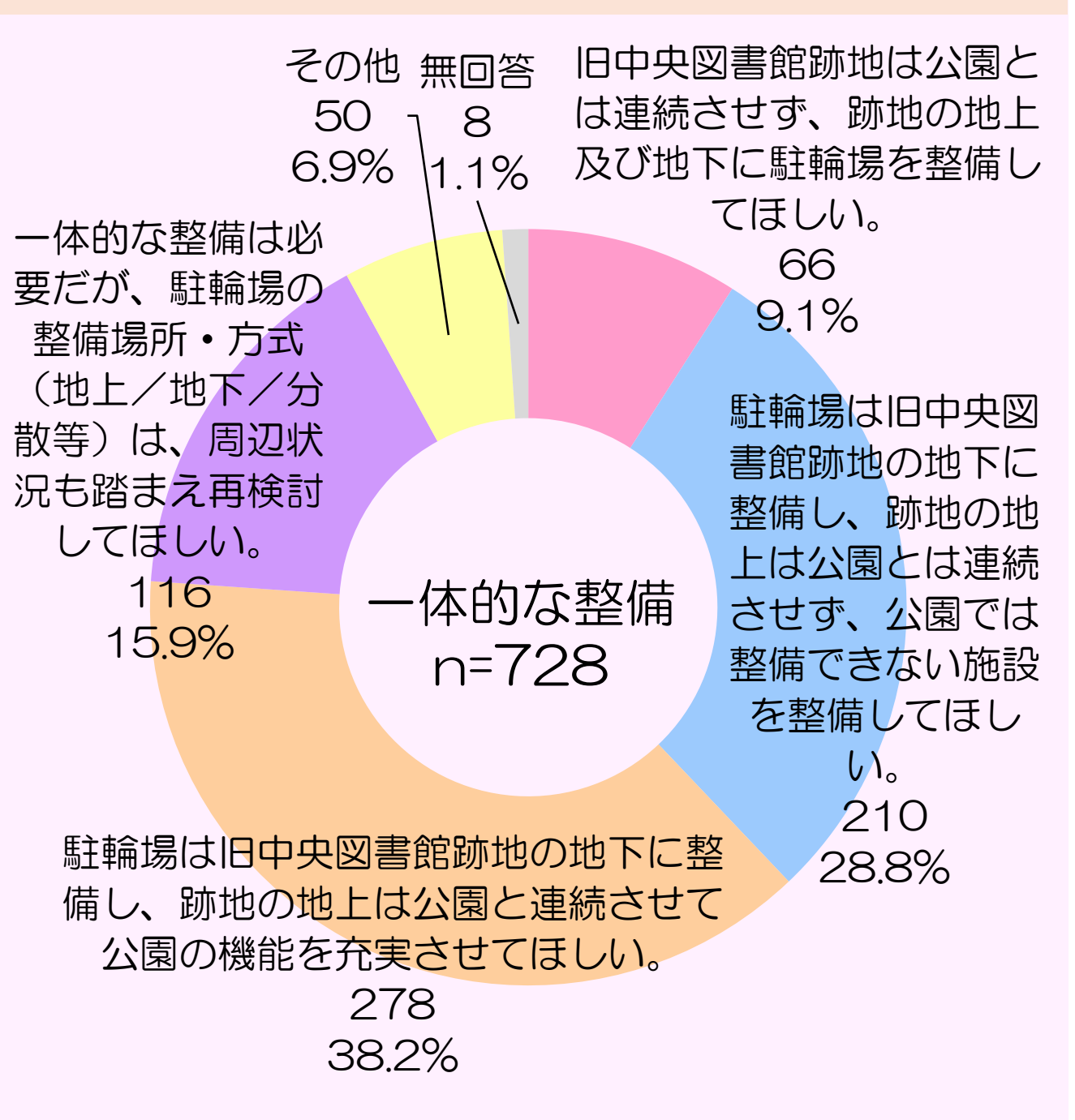
7)跡地地上部の活用に関する考え方について



8)跡地でやってみたい活動について



9)旧中央図書館と常盤台公園との一体性について



3. 記述回答の調査結果

アンケートの自由記述では、さまざまなご意見が寄せられました。一部内容を紹介します。

1)公園の利用

- ・特定団体による長時間の滞在が多くならないようにしてほしい。
- ・公園や跡地が一部の利用に偏らないよう配慮が必要。
- ・休日に占有的な利用が見られる状況の改善が求められる。
- ・子どもを安心して遊ばせにくい状況があるのではないか。
- ・誰でも自由に利用できる環境とすることが望ましい。
- ・特定の利用に偏らない使い方が必要。
- ・安心して利用できる公園となることが求められる。

2)子どもの遊び場

- ・子どもが自由に遊べる場所を確保してほしい。
- ・ボール遊びができるスペースの整備が望まれる。
- ・芝生など走り回れる空間があるとよい。
- ・年齢に応じた遊び場の整備が必要。
- ・安全に遊べる環境を確保してほしい。
- ・屋外で体を動かせる場の充実が求められる。
- ・子どもが集まりやすい空間とすることが期待される。

3)景観・緑

- ・景観に配慮した整備としてほしい。
- ・緑を増やし、自然を感じられる空間とすることが望ましい。
- ・落ち着いた住宅地にふさわしい景観が求められる。
- ・派手な建物は避けるべきではないか。
- ・既存の樹木や環境を大切にすることが必要。
- ・季節を感じられる空間づくりが期待される。
- ・周辺環境と調和した整備が求められる。

4)安全・防犯・照明

- ・夜間も安心して利用できるようにしてほしい。
- ・照明の充実により明るい環境とする必要がある。
- ・子どもや高齢者が安心できる環境づくりが求められる。
- ・見通しの良い空間とすることが望ましい。
- ・防犯性に配慮した整備が必要。
- ・不安を感じにくい環境づくりが求められる。
- ・安全に過ごせる空間とすることが重要。

5)カフェ・飲食

- ・カフェや軽食が取れる場所があるとよい。
- ・公園利用の合間に休憩できる場が求められる。
- ・気軽に立ち寄れる飲食機能があると望ましい。
- ・居心地よく過ごせる空間とすることが期待される。
- ・家族で利用しやすい環境があるとよい。
- ・滞在しやすい空間づくりが望まれる。
- ・公園と一体的に利用できる場とすることが求められる。

6)防災

- ・災害時の避難場所として活用できることが期待される。
- ・防災拠点としての機能が求められる。
- ・備蓄機能の整備が必要。
- ・緊急時に役立つ施設とすることが望まれる。
- ・地域の防災力向上につながる整備が求められる。
- ・安心して避難できる場所とする必要がある。
- ・平時と災害時の両方に活用できることが望ましい。

7)駐輪場・モビリティ

- ・駐輪場は必要だが配置に配慮してほしい。
- ・地上ではなく地下などの設置が望まれる。
- ・景観に配慮した整備が必要。
- ・自転車動線による安全性への配慮が求められる。
- ・利用しやすい駐輪場とすることが重要。
- ・放置自転車対策につながる整備が必要。
- ・適切な規模で整備することが望ましい。

8)文化・交流

- ・多目的に利用できる施設が求められている。
- ・文化活動やイベントができる場がほしい。
- ・音楽、演劇、合唱などの練習ができる防音施設がほしい。
- ・地域の人が集まれる場とすることが期待される。
- ・学びや交流の拠点となる施設が必要。
- ・誰でも利用しやすい施設とすることが望ましい。
- ・にぎわいにつながる空間の創出が求められる。

9)図書機能

- ・図書館機能を一部でも残してほしい。
- ・予約本の受取や返却機能の整備が望まれる。
- ・図書館が遠くなり不便。
- ・小規模でも図書機能があればよい。
- ・読書ができる場所の整備が求められる。
- ・学習スペースがあると望ましい。
- ・日常的に利用できる図書機能が求められる。

10)住民参加・手続き・透明性

- ・住民の意見をしっかり反映してほしい。
- ・計画の進め方を分かりやすく説明する必要がある。
- ・検討内容や経過を丁寧に示してほしい。
- ・一部の意見に偏らない配慮が求められる。
- ・誰でも意見を言いやすい機会が望まれる。
- ・整備の目的や考え方の明確化が必要。
- ・地域と対話しながら進めることが求められる。

1. 整備の方向性(まとめ)

①ときわ台駅北口第1自転車駐車場の閉鎖に伴い、放置自転車があふれることを防ぎ、安心・安全な生活環境の提供を実現します。

②誰かの場所でもあり、誰の場所でもない、利用者が利用しやすいように自由に变化させることができる空間を提供します。

③まちに係る人々の期待や希望を、各種法令に遵守しつつ、地域とともに創っていける行政施策を実現します。

④旧中央図書館と常盤台公園の歴史的景観や文化を未来に継承するための施設整備方針や、環境に配慮した整備手法と費用対効果の検討をします。

既存建物の減築による活用を軸に地下自転車駐車場の整備及び公園との一体感がある空間をめざして整備の検討を進めます。

2. 今後の事業スケジュール

今後の事業スケジュールは以下のとおりです。なお、社会情勢等の変化により、内容が変更となる場合があります。

令和7年度・令和8年度

これまでの検討結果を踏まえて、基本構想・基本計画の策定を予定しています。

令和9年度・令和10年度

基本構想・基本計画を基に、基本設計・実施設計の実施を予定しています。

令和11年度・令和12年度

施設建築物整備工事の開始を予定しています。

令和13年度

ときわ台公園の工事開始を予定しています。

皆さまからいただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。
今後も地域の皆さまのご意見を伺いながら、近隣にお住まいの方々の住環境に配慮しつつ、将来につながる施設整備を進めてまいります。
引き続きご理解とご協力をお願いいたします。
なお、本日のオープンハウスの資料は、後日、区ホームページにて公開いたします。



[担当]

板橋区 土木部 みどりと公園課(公園設計係)
〒173-8501 板橋区板橋2 丁目66 番1 号 E-mail:d-kkeikaku@city.itabashi.tokyo.jp
板橋区 土木部 土木計画・交通安全課(自転車対策係)
〒173-8501 板橋区板橋2 丁目66 番1 号 E-mail:d-anzen@city.itabashi.tokyo.jp

本計画に関するこれまでの検討は、右記の二次元コードよりご確認ください。



来場者アンケート

この度は、旧中央図書館跡地活用オープンハウスへご来場いただきありがとうございます。ご来場の皆様のご意見をお伺いするため、シール貼り付け式のアンケートを実施いたします。**20代以下は緑色のシール**、**30代～50代の方は赤色のシール**、**60代以上の方は青色のシール**を該当する場所へ貼り付けください。

Q. 跡地整備にあたり、最も重視したい点はどれですか？

1. 公園の利用	2. 未就学児が遊べる環境	3. 小中学生が遊べる環境	4. 景観やデザイン、緑の豊かさ
5. 安全・防犯・照明への配慮	6. 休憩機能の向上	7. 防災・避難・備蓄機能	8. 自転車駐車場の整備
9. 文化的活動の充実	10. 多目的なスペース	11. 図書館機能の充実	12. その他

選択式・自由記述のアンケートへのご協力をお願い

アンケートコーナーに設置しているアンケート用紙にもご回答をお願いいたします。

選択式および自由記述の項目がありますので、ご記入のうえ回収ボックスにご投函ください。

皆様のご意見は今後のまちづくりに大いに役立てさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。